

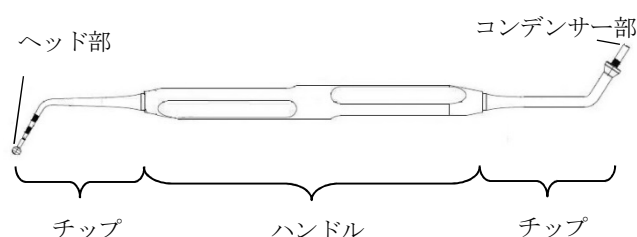
TM サイナスリフトキット

【形状・構造及び原理等】

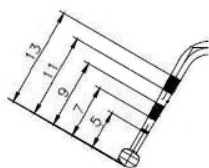
【形状・構造】

本品は、ハンドルの片方にデプスゲージ、もう一方にコンデンサーをもつ Goose-Neck (グースネック) と両方に上顎洞底粘膜剥離を行う作業部をもつ Line-Neck (ラインネック) の 2 種類がある。Goose-Neck (グースネック) はデプスゲージのヘッド部及びコンデンサー部の直径別に 2 種類がある。Line-Neck (ラインネック) は近心/遠心用と頬側/口蓋側用の 2 種類があり、形状及び寸法は以下のとおりである。

Goose-Neck (グースネック) : 全長約 183mm



デプスゲージの目盛は
右図のとおりである。

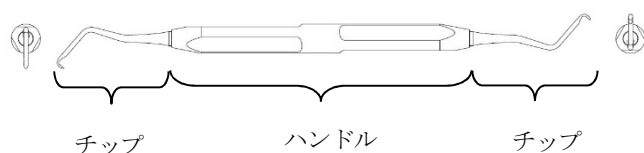


(単位 mm)

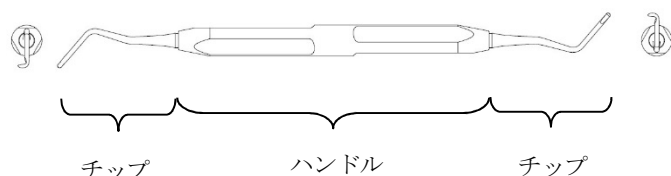
種類名	ヘッド部 直径	コンデンサー部 直径	ハンドル
#1	2.5	2.0	ブルー
#2	3.5	3.0	グリーン

Line-Neck (ラインネック) 全長: 約 180mm

#1 (近心/遠心用) ハンドル: イエロー



#2 (頬側/口蓋側用) ハンドル: パープル



【体に接触する部分の主な組成】

チップ : ステンレス鋼

【原理】

本品のハンドルを保持し、作業部 (チップ) で穿孔底の探査や上顎洞底粘膜の剥離、骨補填材等の充填、凝縮を行う。

【付属品】

滅菌ケース

【使用目的又は効果】

本品は、インプラント手術に用いる。
本品は上顎骨の深さの測定、穿孔底の探査や上顎洞底粘膜の剥離、骨補填材等の充填、凝縮に使用する。

【使用方法等】

【使用方法】

- (1) インプラントの埋入窩の大きさに応じて Goose-Neck (グースネック) を選択する。
- (2) デプスゲージ部を使用して、歯槽頂からの開洞後にヘッド部を洞底部骨に掛けるように上顎洞底粘膜を剥離する。(必要に応じて拳上距離を計測する。)
- (3) 追加で剥離を行う場合は、Line-Neck (ラインネック) を使用し、剥離を広げる。
- (4) Goose-Neck (グースネック) のコンデンサー部を使用し、洞底部と上顎洞底粘膜の隙間に骨補填材等の充填、凝縮を行う。

【保守・点検に係る事項】*

【滅菌】

- (1) 初回使用前と毎診療後に、必ず高圧蒸気滅菌を行うこと。
推奨滅菌条件 (日本薬局方による) : 115~118℃ 30 分間
121~124℃ 15 分間
126~129℃ 10 分間
- (2) 133℃以上に加熱しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】*

製造販売業者: 株式会社モリタ

電話番号: 06-6380-2525

外国製造業者: オゾン OSUNG MND CO., LTD.

国名: 大韓民国

【お問い合わせ先】

問合せ窓口: 株式会社モリタ お客様相談センター

電話番号: 0800-222-8020 (無料)

Fax 番号: 0800-222-6480 (無料)

E-mail: e-customer@morita.com